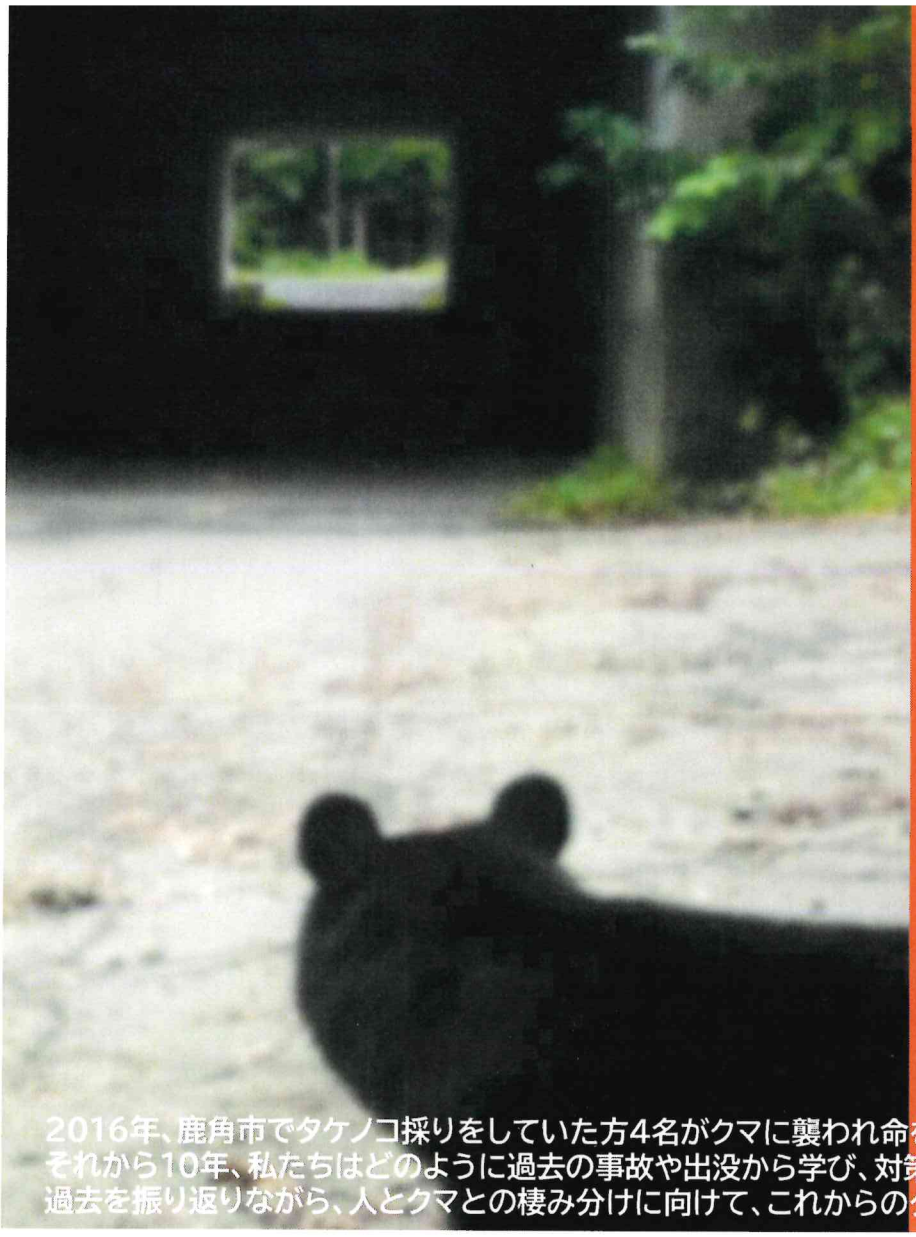


日本クマネットワーク公開シンポジウム2026

秋田県の人とクマ、来し方行く末

2016年、鹿角市でタケノコ採りをしていた方4名がクマに襲われ命を落とした。
それから10年、私たちはどのように過去の事故や出没から学び、対策を進めてきたのか。
過去を振り返りながら、人とクマとの棲み分けに向けて、これからのクマ対策を考える。

日時　2026年11月22日(日)　13:30~16:30

場所　**文化の杜交流館コモッセ**
（鹿角市花輪市民センター講堂）
鹿角市花輪字八正寺13

どなたでも
参加いただけます！
参加無料
申込不要

話題提供

「鹿角市の10年とこれから」 青山真(鹿角市農地林務課)
「秋田でクマの取材を続けて」 川口大介(秋田放送)
「調べることで見えてきた秋田の課題と希望」 山崎晃司(茨城県自然博物館)
「秋田で学び、岩手へつなぐ」 渡邉颯太(岩手県自然保護課)
「秋田県の10年とこれから」 近藤麻実(秋田県自然保護課)

パネルディスカッション
10年後の秋田を話そう

「鹿角市」

日本クマネットワーク・秋田県

本シンポジウムは、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています